

～学術大会からの「伝える」～

参議院議員・薬剤師 本田顕子



各地で学術大会が開催される季節になりました。久方ぶりに対面でお会いできる喜びが各地で広がっていることを感じます。

九州山口薬学大会にて「ジェンダー平等、共に認めあう社会へ」をテーマに講演のご依頼を受けました。女性活躍を進めるには、日常の「当たり前」を見直すことが大切であることを伝えさせていただく良い機会となりました。先進国で最低レベルのジェンダーギャップ指数(*)をどうすれば1に近づけていけるか？固定的性別役割分担意識を変えていくことやアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）に気づくこと、家庭等での男性の協力が必要であることについて、参加の先生方と思いを共有させていただきました。

女性活躍には男性の育児、家事への参加がとても大切で、男性の育児や家事の時間が長くなるほど、女性の継続就業率や第2子以降の出生割合が増えるというデータもでています。「産後パパ育休」が10月から始まりました。私は令和3年4月8日の参議院厚生労働委員会で育児・介護休業法改正法案の質疑に立たせていただきました。男女が認め合いながら活躍できる社会に繋がることを願っております。

私自身、伝える大切さを感じる毎日です。ご依頼いただければ、今後も対面、Web等工夫しながら「伝える」を続けてまいります。

(*) ジェンダーギャップ指数 (Gender Gap Index : GGI)

各国における男女格差を測る指数のことで、世界経済フォーラム (WEF) が「経済」「教育」「健康」「政治」の4つの分野のデータから作成。0が完全不平等、1が完全平等を示す。

https://www.gender.go.jp/public/kyodosankaku/2022/202208/202208_07.html

[お問い合わせ先]

〒100-8962 東京都千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 1001 号室 参議院議員本田顕子事務所

<TEL> 03-6550-1001 <FAX> 03-6551-1001

<E-mail> akiko_honda02@sangiin.go.jp



令和4年9月19日 第81回九州山口薬学大会 女性薬剤師分科会での講演



第204回国会 参議院厚生労働委員会 (令和3年4月8日) での質疑